



学校法人国学院大学の公式ホームページでは、傘下各校の行事や取り組み等を公開しています。左記の二次元コードからぜひご覧ください。

学報 News CATY

2025年7月

第164号

発行/国学院大学
北海道短期大学部
滝川市文京町3-1-1
TEL.0125-23-4111 FAX.0125-23-5590
広報委員長 菅原 健太



「ありす祭」大勢の来場者でにぎわう

6月14日、15日に学生主催の大学祭「ありす祭」を開催しました。地域の方々も大勢参加され、学生たちの笑顔が溢れました。14日には恒例の花火大会も実施され、大空に花火が咲きました。両日とも天候に恵まれ、大勢の来場者でにぎわいました。15日には、軽音部の演奏、学生がパフォーマンスを披露するFMラジオ、Skyの番組などもありました。



体育館で防災キャンプ

キャンパスアドベンチャープログラムで非認知能力

7月19日から20日にかけて1泊2日で行った第5回キャンパスアドベンチャープログラム(ACAP)は、雨天のため会場をテントアキアに変更し、本学体育館へ変更して行いました。「子どもと健康」「レクリエーション理論」「レクリエーション現場実習」「ディスカバリー」の授業を履修する学生27名、地域にお住まいの親子モニター4名を加えた総勢31名が参加しました。体育館にはワカサギ釣りのフロアレステーブルや自立型テントを設置し、限られた空間を活用して仮設避難所を想定した活動を展開しました。音楽に合わせた準備体操や自然体験を想定した模擬授業、防災教育などに創意工夫を凝らし、学生たちは協力しながら設定された課題に挑戦しました。

さらに、アウトドア活動に必要なテント設置などのハードスキルに加え、子どもを巻きこむためのコミュニケーションスキルも実践的に学びました。災害時の環境の厳しさをイメージしながら雨天時の対応力、保育者としての判断力・適応力、非認知能力を高める貴重な学びの場となり、自然体験活動や防災教育の重要性を再認識する機会ともなりました。(幼児・児童教育学科 教授 田中 徳(防災士))

学生支援企画 エスコンフィールドで日ハム対楽天戦を観戦

北海道の観光資源と経済活性の現場を体感



7月6日、学生支援と教職員3名で訪れ、エスコンフィールドで日ハム対楽天戦を観戦しました。序盤から波乱の展開となり、楽天が先制ホームランを打ちました。最終的に日ハムが8対6で勝利し、見事に3連勝を飾りました。エスコンフィールドを訪れ、試合を観戦し、選手との交流もできました。今回は大勢の仲間と観戦し、試合の盛り上がり、参加した仲間との交流も深めることができました。内容の濃い試合を観戦できて楽しかったです。滝川で過ごす2年間、これからも様々なイベントに参加し、北海道ならではの四季を満喫したいと思えます。(国文学科1年/樋田 倫敦)



成績最優秀者 奨学金

本年度は9名が受賞

成績最優秀者・健康として学業人物ともに優秀な人物を顕彰することを目的とし、それぞれ奨学金を支給する制度です。5月31日、岩見沢市で「源氏物語を楽しむ会『げんじ』10周年記念講演会」が開催されました。同会の代表をつとめるのは、本学国文学科の卒業生、田村恵子さん。当日は、播磨光壽名誉教授による講演「源氏物語と六条院めぐり」が行われ、会場には多くの参加者が集まりました。

5月31日、岩見沢市で「源氏物語を楽しむ会『げんじ』10周年記念講演会」が開催されました。同会の代表をつとめるのは、本学国文学科の卒業生、田村恵子さん。当日は、播磨光壽名誉教授による講演「源氏物語と六条院めぐり」が行われ、会場には多くの参加者が集まりました。講演会は、源氏物語に描かれる公家院についての話が中心でしたが、六条院は源氏の住まいであり、物語の中で重要な舞台となっており、源氏物語は三部構成で、特に第一部は「本伝」と別伝に分かれています。本伝は紫の上を中心とした物語、別伝は玉鬘を中心とした物語で、それぞれ源氏と頭中将の娘の半生が描かれており、別伝と本伝が大きな関わりを持っています。六条院は源氏の住まいであり、物語の中で重要な舞台となっており、源氏物語は三部構成で、特に第一部は「本伝」と別伝に分かれています。本伝は紫の上を中心とした物語、別伝は玉鬘を中心とした物語で、それぞれ源氏と頭中将の娘の半生が描かれており、別伝と本伝が大きな関わりを持っています。



国際的な視点で深める探究

イタリア・リミニでECSS 2025

幼児・児童教育学科 教授 田中一徳

本学キャンパス内で実施された雪洞実験の成果が、7月2日にイタリア・リミニで開催された欧州スポーツ科学学会(ECSS 2025)にて発表されました。演題は「雪洞滞在中の生理的ストレスに対する保温アルミシートの効果」内側覆い(外側覆い)と外側覆い(内側覆い)の比較。本研究は、川崎医療福祉大学小野寺昇教授を研究責任者とし、国学院大学の原喜名名誉教授を含む23名の研究者チームによる共同研究で実施されました。雪洞実験は、雪洞の中で1時間過ごし、その間に心拍数、血圧、体温などを測定し、保温アルミシートの着用と着用しない場合との比較を行いました。結果、保温アルミシートを着用したグループは、着用しなかったグループに比べて、心拍数、血圧、体温の増加が抑制されました。これは、保温アルミシートが雪洞内の低温環境を緩和し、身体的ストレスを軽減したと考えられます。本研究は、雪洞実験の科学的な検証に貢献し、保温アルミシートの効果を実証しました。

9/27(土)13:00-16:00 Open Campus

国文学科 | 総合教養学科 | 幼児・児童教育学科

学生生活を体験!!

源氏物語を楽しむ会『げんじ』10周年記念講演会に参加して

5月31日、岩見沢市で「源氏物語を楽しむ会『げんじ』10周年記念講演会」が開催されました。同会の代表をつとめるのは、本学国文学科の卒業生、田村恵子さん。当日は、播磨光壽名誉教授による講演「源氏物語と六条院めぐり」が行われ、会場には多くの参加者が集まりました。講演会は、源氏物語に描かれる公家院についての話が中心でしたが、六条院は源氏の住まいであり、物語の中で重要な舞台となっており、源氏物語は三部構成で、特に第一部は「本伝」と別伝に分かれています。本伝は紫の上を中心とした物語、別伝は玉鬘を中心とした物語で、それぞれ源氏と頭中将の娘の半生が描かれており、別伝と本伝が大きな関わりを持っています。

Haiiku Bar

短歌の庭開催

新進気鋭の俳人 堀本裕樹氏、歌人 山田航氏とともに、歌人でもある本学国文学科教授 月岡道晴が会「Haiiku Bar」を企画します。

◇会「Haiiku Bar」9月27日(土) 18時から
会場 ホテル三浦園 参加費2000円(ドリンク付き)

◇歌会「短歌の庭」9月28日(日) 13時から
会場 紀伊國屋書店札幌本店インナーガーデン 参加費無料
詳細はホームページをご覧ください。お申し込みは8月1日から開始します。

こっそり教えます! 短歌・俳句を詠むコツ
国文学科教授 月岡道晴

「Haiiku Bar」、「短歌の庭」、どちらも事前に題によって作品を提出し、好きな作品投票して、会合・歌会を楽しむイベントですが、どうせなら高得点を狙ってみたいですね。

①2章仕立てで詠め! 短歌も俳句も二つのパートで詠み、伝えたい趣旨をできるだけ先に詠んでしまうと、わかりやすくなり、韻の揃いもよくなります。俳句ならば、まず12音のフレーズを先に作ってから5音の季語をつける、初心者は詠みやすいでしょう。○○○○○/12音のフレーズ、または12音のフレーズ/○○○○○の形です。○○○○○に「青風」や「稲光」、「蟬時雨」などの季語を入れます。なお俳句の場合、フレーズに季語が入らないようにします。複数の季語が入ると、場面や空気が具体的に想像しづらくなります。季語は歳時記に集められていますので、必ず参照してチェックして下さい。

②できるだけ具体的・映像的に! 例えば5人の小学生の女子とすればいいです。普段なら私たちがただただに話してしまっていますが、詩人はこれにさらに凝視します。すると、その子の一人は指に怪我をしている、ああ一人は眼帯をしていた、と気が付きます。それを詠み取って作品にするのです。詩歌に詠むとは「把」(握)に「女子」と括弧で一人ひとりに個別の姿を与えること、そしてそれぞれの真実をつつと丁寧に掴み出すことです。こうして掴み出した真実に人は心を動かすのです。固有な名詞を利用するのはいかもしません。漠然と「駅」と言うよりも、「北千住駅」と言うと、駅が急に生活の舞台として動き出します。固有な名詞にはそこに人々が重ねてきた年月や記憶、生活感が膨大に重ね書きされています。これを利用して歌人・俳人は短い詩の世界を何十倍にも膨らませるのです。